



日本笑い学会関東支部第300回記念オンライン研究会



(1)講演：笑いを学問する

～私の「笑い学研究」を振り返って

(2)意見交換：各自の笑い！ (ジョーク、この一年の笑い、研究会への要望、他なんでも)

【講演概要】

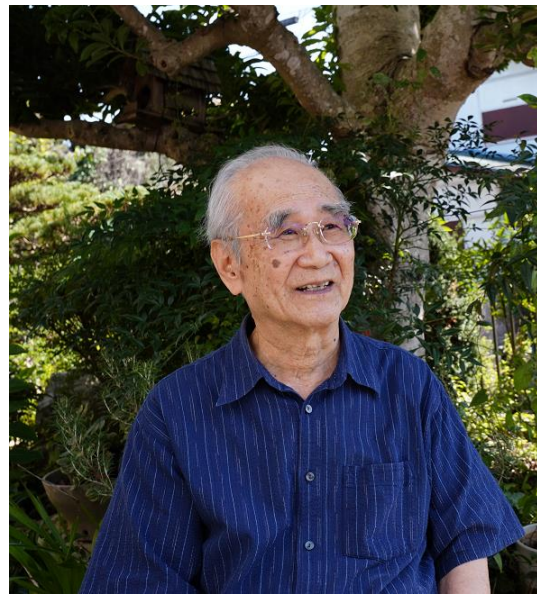
「大阪の笑い」を考えるのに漫才を取り上げ、それに端を発して「人間が笑う」のは何故なのかを考える。「笑顔」や「笑い」がもつ意味、「笑いの効用」について論じ、①「健康」②人間関係③楽しみの観点から、「笑う」行為の意味を問う。笑いは心身に関係し、身体的には、「ホメオスタシス」(恒常性の原理)の原理の上に「笑いのバランス論」(均衡・平衡)を考え、こころの問題にあっては、「笑っている最中」に注目し、「笑って忘れる」ことの意味を追跡。笑いの「無化作用」から「いのちの再生」について論じ、「ユーモアのこころ」とは何かについて考える。

【講師紹介】

テレビ局に就職後1973年退職し、関西大学社会学部専任講師。1981年社会学部教授、1994年総合情報学部、2003年定年退職し名誉教授。

「情報メディア研究」を専門とし「笑い学研究」にも関心をもつ。1994年「日本笑い学会」初代会長。1999年「大阪府立上方演芸資料館」館長。2015年追手門学院大学笑学研究所所長。

主な著書：『大阪の文化と笑い』(関西大学出版部、2003)、『笑い学のすすめ』(世界思想社、2004)、『笑いの力』(関西大学出版部、2010)、『笑いとうもろのこころ』(春陽堂書店、2019)。(近刊予告『笑いを学問する～研究の歩みを回顧して』関西大学出版部、2021)



講師：井上 宏氏

(いのうえひろし)

(関西大学名誉教授)

／日本笑い学会顧問・初代会長

／大阪府立上方演芸資料館運営懇話会・会長

2021年12月18日(土)

14:00～16:30

Zoom入場は 13:45～

※新型コロナ感染拡大に伴い、会場参加は中止とし、Zoomによるオンライン参加のみとなりました。

コロナ対策のため事前申し込み制
会員無料

(非会員は参加費 1000円)

(ただし非会員の学生は無料)

申し込み方法：お名前・会員番号
(非会員の方は「非会員」、学生の方は学校名)を記載し、
メールにて申込み下さい。

主催：日本笑い学会関東支部

問合せ・申込先：un_ei-01@warai-kanto-0808.org

ホームページ：http://www.warai-kanto-0808.org/